



**地域の大人が“先生”に！**  
 ～Work Work体験 in 日新～

**日** 新中学校区で6月19日に行われた、小中学生と地域住民の交流行事。子どもたちは学校・学年混合の32班に分かれ、昔遊びやスポーツなどに挑戦しました。ちりめんの生地で風車を作った班は、完成した作品を手に「楽しかった！」「家族にも教えたい」と大喜び。講師の山下保子さんは「子どもたちの意欲がうれしかった。私たち年配者の持っているものを、どんどん伝えていけたらいいですね」と、優しい目で見守っていました。



**どんなものができるかな？**  
 ～南小学校陶芸教室～

**南** 小学校5年生の恒例行事である陶芸教室が、地域の陶芸サークル「南陶友会」の会員を講師に迎え、南公民館で行われました。平たく伸ばした板状の粘土を使う「タタラ作り」という技法でマグカップを作る子どもたち。星歩夢さんは「陶芸をやるのは初めて。絵を描くのが一番楽しかった」と笑顔で話してくれました。いくつかの工程を経て、完成は8月初旬を予定。世界に1つしかない自分だけの作品の完成が待ち遠しいですね。



**飛び散る汗と息づかい**  
 ～那須グランドホースショー～

**ワ** ールドカップ予選を兼ねた馬術競技大会が、6月4日から3日間にわたり那須トレーニングファームで開催されました。約200頭の馬が一堂に会し、人馬一体となって技を競い合いました。初日はあいにくの雨でしたが、ぬかるんだ地面などものともせず力強い跳躍を見せてくれました。廣田龍馬さんは「馬との絆がないと障害を飛び越えることはできない。人と馬の息の合った走りを見てほしい」と、競技の見どころを教えてくださいました。



**輝かしい功績をたたえて**  
 ～君島 王羅さんに市長特別賞を贈呈～

**今** 年1月に開催された第1回全日本学生アルペン選抜大会。大学生がメインのこの大会に高校生(当時)ながら出場し、男子回転で見事優勝した本市出身の君島王羅さんに、4回目の市長特別賞を贈呈しました。君島さんは「大学選抜を高校生で優勝できたのは、すべて家族のおかげです。本当に感謝しています。世界一を目指し、覚悟を決めて努力していきますので、皆さんどうか応援よろしくをお願いします」とコメントしてくれました。



**「正しく乗ろうね」選手との約束**  
 ～稲村小学校自転車安全教室～

**稲** 村小学校で6月22日、自転車安全教室が開かれました。講師を務めたのは、那須ブルーゼンの島野選手と義輪マネージャー。トレーニング中に体験した危険な場面や自転車の交通ルールなどを紹介し、「正しく安全に乗ろう」と呼び掛けました。講習の後は校庭に移動し、自転車の安全な乗り方をさっそく実践することに。子どもたちは一生懸命にペダルをこぎ、細い一本道やカーブのある特設コースに挑んでいました。



**育ってね！ 思いやりの気持ち**  
 ～東原小学校人権の花運動～

**十** 力して花を育てることで、優しさと思いやりの心も育てる人権の花運動。東原小学校にマリーゴールドなどの人権の花が人権擁護委員から贈呈され、6月16日、児童の手で学校の花壇に植えられました。6年生の虎澤凜空さんは、「みんなで植えた花がきれいに育ってほしい。いじめは最初は小さくても、いずれ大きくなるので、早めになくすことが大事だと人権擁護委員さんから教えてもらいました」と話してくれました。



**緊張したけど、頑張ったよ！**  
 ～槻沢小学校スポーツフェスティバル～

**春** の運動会シーズンの5月29日、槻沢小学校でスポーツフェスティバルが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために、3グループに分かれ、入れ替えをしながら競技を実施。入学したばかりの新1年生は、広い校庭での初めての競技に緊張しながらも、徒競走やダンスなど、練習の成果を存分に発揮しました。子どもたちの活躍に、見守っていた大勢の保護者からは大きな拍手が送られていました。



**災害時の備えには何が必要？**  
 ～県内外国人向け防災教室～

**6** 月5日、いきいきふれあいセンターで行われた「みんなの防災教室」。市や県国際交流協会、市国際交流協会が共催し、インド、中国、ベトナム、スリランカ、ブラジル、オーストラリア出身者などが参加。日本で起こりやすい災害や避難所の説明を受け、県防災士協会会員と一緒に防災マップの確認や避難時に役立つ新聞紙スリッパ作りをしました。参加者は、「災害に備えて必要なものを準備したい」と聞かせてくれました。